

平成25年度「使える英語プロジェクト事業」公開授業および研究協議の要旨

市町村名 能勢町  
 実践研究校名 能勢町立西中学校

【公開授業】公開日：平成 26年 3月11日  
 対象学年：1年

(教材・教科書名) New Crown ENGLISH SERIES 1 (単元名) TVショッピング Home Shopping Network	(本時の指導の目標) ・既習事項を活用して、まとまりのある内容を聞き手にわかりやすく表現する。 ・スキット発表において、間違いをおそれずに話す。 ・まとまりのある英文を聞いて、理解する。
---	--

(本時の授業において工夫した点)

- ・選んだ「オリジナル商品」について、班活動を活用し、学び合いの場面を設定し、班で協力してTVショッピングの場面で商品説明する英文を考えさせる
- ・過去形の疑問文を活用したペアワークに積極的に参加させる
- ・言語活動を活発にさせるため生徒代表によるモデルスキットの活用

(授業後の振り返り)

- ・英語が得意でない生徒にどうやって英語力をつけていくかが大きな課題である。そのため、導入時に「ウォームアップ」で不規則動詞の過去形を音読する、ペアゲーム“Treasure Hunting”などゲームの要素などをとり入れている。また、班で学習する「学び合い」ができる場面を設定し、全員が「わかる」「できる」よう工夫をしている
- ・子どもの今の実態に合わせ、モデルスキットを工夫させ、学年の学習のまとめとなるような発表につなげたい

【研究協議】

(テーマ) 英語を活用して「コミュニケーション」をとろうとする意欲の向上について	(指導・助言者) 大阪教育大学 加賀田 鉄也 教授 能勢町教育委員会 田口 順一 主任
---	---

(研究協議で出された意見)

- ・子どもたちは元気があり、英語でコミュニケーションしようというモチベーションは高かった。小学校の英語活動でとりくんだ成果も活かしている
- ・中学3年間でつける英語の力、各学年での到達目標を学年担当で共通理解をし、各学年で責任をもってとりくむことが大切
- ・現行の学習指導要領が示す「言語活動の充実」を図るため、本校がとりくむ導入時の工夫「1分間イノベーション」を英語で行う、授業中の指示語を日本語ではなく、今以上に英語のみで効果的に行う、子どもの発表にもっと英語でコメントを返す等の授業改善の必要がある。子どもは十分に理解できる

- ペアゲーム “Treasure Hunting” で余分な時間がかかっているのがもったいない
- ワークシートの英単語にフリガナがふってあるが、表記の統一が必要
- モデルスキットをした子どもがよくがんばって発表したので、他の子どもの学習意欲の向上につながっていた。内容もよく考えられていてすばらしかった
- 教師とA L Tの役割分担が効果的によくできていた。また、子どもとの信頼関係があるのが見てとれた
- 個に応じた指導を充実させるために、T 2の教師の役割の工夫を考える必要がある
- 学習後の振り返りが大切。今後、この単元の最終時に発表があると思うが、その振り返りをしっかりやり、学習内容の定着を図ることが必要